

刈岡茂君 先日開催されました県下ロータリーゴルフコンペに下手くそながら参加しました。堀川さん、羽賀さんについて廻るだけで疲れてしまいました。でも大変勉強になりました。ありがとうございました。

堀川正幸君 県下ロータリーゴルフ大会で運よく8位に入賞しました。優勝は個人、団体とも水原クラブで来年の幹事クラブだそうです。

芦田義重君 明日は三条まつり大名行列の導祖として参加します。今年で13年目になりました。頑張ってます

米山忠俊君 お天気のよい明るい三条祭りになりそうです。今月銀婚式を向えます。25年永く続きました。皆様家族のおかげです。感謝しております

久保博君 ひさしぶりに天気になりました。心も晴れます。

佐藤義英君 先日旅行で中学の修学旅行以来鎌倉に行ってきました。帰りに横浜ベイブリッジ、鶴見つばさ橋、レインボーブリッジの3つの橋をいっきに渡ってきました。これは雪国むきの橋じゃないなと思った。

イライラボックス： 14日現在累計 10,000円

卓 話： 「4.14感謝の集いを終わって」丸山誠一さん



思いおこせば10年前、三条北ロータリーが、中條、梨本、両会員の熱意のもと、難産のすえ、誕生いたしました。これが北ロータリークラブ、創立の1コマです。平均年齢は、なんと44才、若く行動的な、33才から58才の、34名でスタート致しました。認証状伝達式が、87年5月30日、三条中央公民館で、とり行なわれました。当時のガバナー、藤田説量さんより、お祝いの言葉をいただき、認証状が授与されました。三条北ロータリークラブの誕生です。中条耕二、初代会長より、会長として初めての挨拶ならびに決意をご披露しました。これ

は、認証状伝達式の、記念演奏会として開催いたしました「島田ゆう子ご夫妻」の華麗なるステージです。これが、北ロータリークラブの音楽文化に対し、積極的に取り組む原点とも、いえることではないでしょうか。

三条市の中心を流れる、五十嵐川の「クリーン作戦」に参加しました。郷土の川、五十嵐川を清らかに保つため、会員は、一生懸命、現在でも毎年参加しております。

そして、郷土だけでなく、国際的な奉仕にも積極的に取り組んでまいりました。アジアの研修生12人を受け入れた、「ウエルカム・ジャイカ」。言葉もわからず大変苦労しましたが、身振り、手振り、心のコミュニケーションは、とれたのではないかと思います。

ここで会員と家族の、親睦アスレチックをご紹介いたしましょう。認証状伝達式から、約4ヶ月

後の10月中旬、会員、ご家族、すべてのご理解のもと、秋晴れの下田アスレチックに出かけました。当時の、梨本幹事です。樋口2代目会長のハシャギすぎをごらん下さい。「そんなにハシャイだら、落ちますよ、／」「言わんこっちゃない、／ 落ちてしまったじゃないですか、／」「長谷川さん、落ちた人、誰かわかりますか、／」

88年7月の夏期交換留学生受け入れでは、アメリカのディナーとデビット、男女2名が、梨本会員のお嬢さんの亜子さんと交換留学しております。「デビットの太鼓、どんな音がしましたか、／」「ハイ、ドンドン打ちつけていく感じの音がしました」。ホストファミリー、山崎会員との2ショット。弥彦山山頂での、ディナー、デビットの2ショット。会員奥様との、工場見学の1コマです。ディナーは、いか合戦、太助組に参加して、その後ももちつき大会では、こんなにハッスルして、ハッピー姿を披露してもらいました。最後は、涙、なみだ、／ 感動の一時でした。

「まあ、／ きれいですネ〜」三条クリーン協議会は「花いっぱい作戦」に参加しました。五十嵐川の河川敷で、地元中学生と一緒に「ベゴニアの苗」をうえ、気持ちのいい汗をかきました。

我がクラブの特質すべき点、音楽文化に対する理解のもと、「島昭彦とカルテット・ノベーナ」による、タンゴのコンサートを他に先がけて開催しました。「長谷川さん、きれいな方ですネー。お名前おぼえていらっしゃいますか、／」「モチ、モチ、モチロン、／ ボーカルの山崎美枝子さんですヨ、／」会場の中央公民館は、満席で、アンコールの拍手がなりやまず、三条市には、こんなにもたくさんのタンゴファンがおられ、熱狂させた素晴らしいステージでした。本日の記念コンサートにも出演されます。ご期待ください。

これは、記念すべき画期的な事業の一つです。地元、音楽文化の根をきづきたいという主旨のもと、中学校吹奏楽部の育成を願いに、「公開レッスンコンサート」を開催いたしました。終演を迎えても、先生に質問が1時間30分を越えても質問があり、子供達の吹奏楽に対する情熱を感じさせられました。翌年は、「大崎山ミュージックキャンプ&選抜バンドコンサート」を開催。大崎山グリーンスポーツセンターに、日本屈指の先生方10名と、一般バンドの皆さんをおまねきし、三条市の中学、高校吹奏楽部のレベルアップと交流を目的として行なわれました。「成果は、いかがでしたか？」その後、全日本吹奏楽コンクール、県大会に、中越地区より出場枠7ヶ校のうち、三条市から4ヶ校出場するという、うれしい結果となりました。なお、三条市吹奏楽団の皆さんにも、大変協力していただいたことも忘れられません。市吹の皆様にも、本日の記念コンサートに出演していただきます。

清らかなる五十嵐川で、漁協の協力のもと「さけの稚魚、放流」を行なっております。「子供達が、たくさん集まっていますネ〜」ハイ、子供達に参加を呼びかけ、稚魚をバケツに移して、「五十嵐川に、また帰ってきてね、／」と声をかけながら放流していました。また放流のあと、さけ汁を子供達とおいしくいただきました。「さけを放流して、さけを食べる。チョット不思議な感じです」